

■優駿スプリント（SII）アラカルト（過去全 13 回の分析）

※第 1 回（平成 23 年）から第 4 回（平成 26 年）までは SIII として実施

※記録は令和 6 年 6 月 26 日時点

■上位人気馬の好走率はそれほど高くない

単勝 1 番人気馬は 3 勝、2 着 3 回、3 着 0 回で、3 着内率が 46.2%、単勝 2 番人気馬は 4 勝、2 着 3 回、3 着 0 回で、3 着内率が 53.8%、単勝 3 番人気馬は 1 勝、2 着 1 回、3 着 2 回で、3 着内率が 30.8%となっている。単勝 4 番人気以下の伏兵にもしっかり注目しておきたいレースだ。

■3 番人気以内の馬が 1～2 着を占めた例は 3 回

過去 13 回のうち 8 回は、単勝 3 番人気以内の馬が勝利を収めている。なお、単勝 3 番人気以内の馬によるワンツーフイニッシュ決着は 3 回あったものの、単勝 3 番人気以内の馬によるワンツースリーフィニッシュ決着はまだない。

■浦和所属馬は未連対

所属別の勝利数を見ると、浦和が 0 勝、船橋が 3 勝、大井が 7 勝、川崎が 3 勝となっている。浦和所属馬は第 6 回（平成 28 年）でビッグジャイアントが、第 9 回（令和元年）でトーセンボルガが、第 11 回（令和 3 年）でジョーロノが 3 着となったものの、2 着以内となった例はまだない。

■外国産馬は 2 勝、牝馬は 4 勝

外国産馬の優勝例は、第 5 回（平成 27 年）のルックスザットキル、第 6 回（平成 28 年）のエイシンヒートと、これまでに 2 例ある。また、牝馬の優勝例は、第 1 回（平成 23 年）のミヤサンキューティ、第 2 回（平成 24 年）のゴールドキャヴィア、第 3 回（平成 25 年）のハードデイズナイト、第 13 回（令和 5 年）のフジコチャンと、これまでに 4 例ある。

■ 騎手別の歴代最多勝記録は「2」

騎手別の勝利数を見ると、御神本訓史騎手が2勝で単独トップとなっている。

■ 調教師別の歴代最多勝記録も「2」

調教師別の勝利数を見ると、藤田輝信調教師が2勝で単独トップとなっている。

■ どちらかと言えば内寄りの枠番が優勢

枠番別勝利数を見ると、3枠（3勝）が単独トップ。1枠、4枠、6枠（各2勝）が2位タイとなっている。なお、未勝利の枠番はない。また、馬番別勝利数を見ると、5番と11番（各2勝）がトップタイとなっている。ちなみに、未勝利の馬番は4番、9番、12番、14番、15番である。

<伊吹雅也>